

第 86 回運輸政策セミナー 開催のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび運輸総合研究所におきましては、「第 86 回運輸政策セミナー」を開催することとなりました。

つきましては、ご関心をお持ちの皆様におかれましては、ご参加を賜りますようご案内申し上げます。また、ご関心をお持ちの方々に広くご周知頂ければ幸いです。

ご参加に当たりましては、大変恐縮ですが、申込み専用 URL からお申込み頂きますようお願い申し上げます。 敬具

記

○第 86 回運輸政策セミナー

日 時：2022年9月26日(月) 開会15:00～(最大2時間30分)

会 場：オンライン配信 (Zoom ウェビナー) および運輸総合研究所 2 階会議室

テーマ：交通サイバーセキュリティ

～安全保障環境の変化や DX の進展等を踏まえた経営層の役割～

1. 開会挨拶

15:00～15:10 (10)

宿利 正史 運輸総合研究所会長

2. 講演

(1) テーマ： **ウクライナ情勢で発生した「重要インフラサービス」への**

サイバー攻撃のレビューと得べき教訓 15:10～15:40(30)

講師： **名和 利男** 株式会社サイバーディフェンス研究所専務理事/上級分析官

(2) テーマ： **重要インフラのサイバーセキュリティ対策に係る**

国土交通省の取り組みについて (仮) 15:40～15:55 (15)

講師： **高杉 典弘** 国土交通省サイバーセキュリティ・情報化審議官

(3) テーマ： **CASE に向けたサイバーセキュリティ対応について**

15:55～16:25 (30)

講師： **平永敬一郎** 株式会社デンソー情報セキュリティ推進部製品セキュリティ室長

(4) テーマ： **サイバー攻撃の脅威に備えるために経営層がなすべきこと**

－セキュリティ体制の構築に向けた取り組みからの示唆－ 16:25～16:55 (30)

講師： **斉藤宗一郎** 株式会社資生堂情報セキュリティ部長(CISO)

3. 総括と質疑応答

16:55～17:25 (30)

コーディネーター：**後藤 厚宏** 情報セキュリティ大学院大学学長・教授

登壇：講演者

4. 閉会挨拶

17:25～17:30 (05)

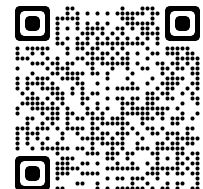
運輸総合研究所

参加費：無料

お申込み：下記の URL よりお申し込みください。

<https://krs.bz/jterc/m/semi220926>

(申込期限：9月21日(水)まで)



※お申し込み頂いた方には、9月22日(木)午後に見聴用 URL をご送付いたします。

概要

DXの進展、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うテレワークの一般化など、サイバーセキュリティを取り巻く環境の変化を背景に、サイバー攻撃は高度化、多様化していることを踏まえ、当研究所では、昨年11月7日に運輸政策セミナーを開催しました。

今回は、ウクライナ情勢などその後の更なる安全保障環境の変化や経済安全保障法制の整備等を踏まえ、質の高い情報提供と意識喚起を行い、交通分野の官民の取り組みをさらに一歩進めることを目的として、運輸政策セミナーを開催します。具体的には、交通分野の取り組みの方向性、経営層の意識改革に関する課題と現場経験に基づくアドバイス、報道ではわかりにくいサイバーセキュリティの最先端の状況などについて講演、質疑応答を行います。

●ウクライナ情勢で発生した「重要インフラサービス」へのサイバー攻撃のレビューと得るべき教訓

ロシアによるウクライナ侵攻「以前」、「直前と直後」、「以降」において、ウクライナとロシアの重要インフラ事業者およびそのサプライヤー等にさまざまな種類のサイバー攻撃の発生が観測されました。その中で、日本の重要インフラ事業者が理解すべき「脅威アクター（攻撃者）がとった戦略・戦術・手順」を簡潔にレビューします。そして、それらから得られた教訓等を示した上で、経営者自らが従来のセキュリティ対策のあり方を大きく変革させていかなければならない必要性和重要性を考えます。

●重要インフラのサイバーセキュリティ対策に係る国土交通省の取り組みについて（仮）

2022年6月17日に新たに策定された「重要インフラのサイバーセキュリティに係る行動計画」（サイバーセキュリティ戦略本部）を踏まえ、新行動計画で特に強調されているポイントを説明するとともに、これを踏まえて政府及び国土交通省が現在取り組んでいる施策の概要と今後について、また、事業者の注目すべき取り組みとして、一昨年に発足した交通ISACのこれまでの活動と今後の課題等についてお話しします。（仮）

●CASEに向けたサイバーセキュリティ対応について

自動車産業はCASE（Connected、Autonomous、Shared & Service、Electric）に象徴される様に新領域での技術革新が進む中で大きな変革期を迎えています。一方で、こうしたCASEの進展に伴い、クルマや生産施設などへのサイバーリスク対策も大きな課題になっています。デンソーでは、クルマを安心・安全にご利用いただくため、サイバー攻撃から守る技術を開発し、確実に搭載すべく独自の仕組み構築を行っています。今回のセミナーではCASEにおけるサイバーセキュリティ対策、さらに工場や生産ラインなどへのセキュリティリスクと対策についてもお話しします。

●サイバー攻撃の脅威に備えるために経営層がなすべきこと

－セキュリティ体制の構築に向けた取り組みからの示唆－

DXの進展等によりサイバーセキュリティの一層の強化が求められています。またDXの活用により大量の顧客情報等を活用した商品やサービス開発が可能となったことから個人情報保護の必要性がこれまで以上に高まっています。今回のセミナーでは、サイバーセキュリティ・情報セキュリティを高めるための社内体制の構築、情報セキュリティ部門が担う役割、経営層が踏まえるべき点についてお話をします。

登壇者のご紹介

● **名和 利男** 株式会社サイバーディフェンス研究所専務理事/上級分析官
(ご経歴)

海上自衛隊において護衛艦のCIC（戦闘情報中枢）の業務に従事した後、航空自衛隊においてプログラム幹部として信務暗号・通信業務/在日米空軍との連絡調整業務/防空指揮システム等のセキュリティ担当業務に従事。その後、JPCERT コーディネーションセンター早期警戒グループのリーダーを経て、サイバーディフェンス研究所に参加。専門分野であるインシデントハンドリングの経験と実績を活かして、CSIRT（Computer Security Incident Response Team）構築及び、サイバー演習（机上演習、機能演習等）の国内第一人者として、支援サービスを提供。最近は、サイバーインテリジェンスやアクティブディフェンスに関する活動を強化中。



● **高杉 典弘** 国土交通省サイバーセキュリティ・情報化審議官
(ご経歴)

平成	3.	3	東京大学法学部卒業
		4	運輸省に入る
	13.	1	国土交通省自動車交通局総務課企画室課長補佐
		9	国土交通省大臣官房会計課長補佐
	15.	4	国土交通省鉄道局財務課長補佐
	17.	8	中国運輸局交通環境部長
	19.	7	国土交通省大臣官房総務課長補佐（兼）大臣官房総務課国会連絡調整官
	21.	7	国土交通省航空局監理部総務課企画室長
	22.	7	国土交通省航空局監理部航空事業課航空物流室長
	23.	8	福岡県企画・地域振興部理事（兼）空港対策局長
	27.	7	国土交通省海事局海技課長
	28.	4	国土交通省海事局船員政策課長
	29.	10	九州運輸局次長
	30.	7	海上保安庁総務部政務課長
令和	1.	6	海上保安庁交通部長
	2.	7	第六管区海上保安本部長
	4.	6	国土交通省大臣官房サイバーセキュリティ・情報化審議官（現職）



● **平永敬一郎** 株式会社デンソー 情報セキュリティ推進部 製品セキュリティ室長
(ご経歴)

京都大学院工学研究科卒、株式会社東芝 IS（Information System）センター入社。2012年から国際公共政策研究センター（CIPPS）に出向。サイバーセキュリティ政策研究に携わる。2016年より東芝インダストリアル ICT セキュリティセンター（ISEC）勤務を経て、2017年より株式会社デンソーに所属。

専門分野はネットワークセキュリティ、サプライチェーン・マネジメントなど。現在は、車載製品・ITサービスのサイバーセキュリティ&プライバシーの統括業務に従事。
資格：ITコーディネーター、情報処理安全確保支援士、CEH（倫理ハッカー）、CISSP（セキュリティ・プロフェッショナル）、CCSP（クラウドセキュリティ・プロフェッショナル）など。



● **齊藤宗一郎** 株式会社資生堂情報セキュリティ部長(CISO)

(ご経歴)

総合化学会社で営業・輸出入業務・生産計画・海外駐在員事務所などの業務を通じて得た課題意識を持ってコンサルタントに転身。米国系 IT 企業のコンサルタントとして官民の組織において事業継続計画 (BCP) ・ CIO 補佐・各種プロジェクトをリード。情報セキュリティ分野では構想策定・規程整備・監査・脆弱性診断・RFP 策定・SOC 構築・J-SOX 対応・トレーニングなどの他、製品ソリューションの選定・導入・運用支援に従事。その実績を評価され、米国通信会社にて情報セキュリティ・ソリューション全般をリードし、現在は資生堂の情報セキュリティ責任者 (CISO) として個人情報・知的財産などを適切に守るため企業リスク管理(ERM)の視点で活動中。



● **後藤 厚宏** 情報セキュリティ大学院大学学長・教授

(ご経歴)

1984年東京大学大学院工学系研究科情報工学専攻博士課程修了。同年日本電信電話公社 (NTT) に入社、情報基礎研究部に配属され、約 27 年間情報技術に関する研究開発に従事。2007 年 情報流通プラットフォーム研究所長、2010 年 サイバースペース研究所長を歴任。2011 年に情報セキュリティ大学院大学教授に転身し、2014 年より研究科長、2017 年 4 月学長に就任。



「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成 (enPiT)」セキュリティ分野代表として、情報セキュリティ人材育成に尽力。これまで、内閣官房、防衛省、経済産業省、総務省、文部科学省などの審議会、委員会等における委員長等及び委員を歴任。

現在、サイバーセキュリティ戦略本部員、内閣府 SIP プログラムディレクターを併任。

運輸総合研究所は日本財団の助成を受けて活動を行っております。

Supported by  日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

お問合せ：一般財団法人運輸総合研究所 (担当：大沼、石部、深作)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19(UD 神谷町ビル)

TEL : 03-5470-8415 FAX: 03-5470-8401

E-mail: collo@jttri.or.jp

HP: <https://www.jttri.or.jp/>